

総合計画に関する調査研究特別委員会
文教分科会長 長野春信様

氏名 朝倉 幹晴

基本計画に対する意見(文教分科会)

基本施策：7 子育て支援 / 8 学校教育 / 9 生涯学習 / 10 文化・スポーツ

意見 「施策2 ニーズに応じた支援の充実」の「当施策における主な取り組み」に以下を加筆すべきである。

「教職員の実践報告・研修・討議を通じた教授内容順序や教授法の修正・開発」

理由 児童・生徒やその親にとって、教師たちが、授業内容を常に研究開発したり修正していこうという努力は授業への熱意となって伝わるはずである。そして各教師がその経験を持ちよりながら討議し、教授内容順序や教授法を修正・開発していくことは、船橋の学校教育の質を高くしていくため最も重要なことである。

世の中や学問内容自体が変化をしている中、時には検定教科書に書かれていない内容や時事問題を積極的に取り上げることで船橋の学校教育を生き生きとしたものにすべきである。

基本施策：7 子育て支援 / 8 学校教育 / 9 生涯学習 / 10 文化・スポーツ

意見

理由